



田原本町立田原本中学校

2023 (R4 年度)
2月1日発行
第13号
文責：村井

〇めざす学校像

「ひとひとひを生かす学校、規律ある美しい学校、みんなで力を合わせやり抜く学校」



今年度の3学期は、10日が始業式だったこともあり、1月が終わりもう2月に・・・という感じです。さて、3年ぶりに行動制限のない年末年始だったので、冬休み明けのコロナ状況やインフルエンザの流行も大変心配でした。今のところ学級内で流行している様子は見られませんが、皆さん油断をしないように予防には気をつけてください。

3学期 はまとめの学期です。皆さんの中には、令和5年に向けての目標を個人で部活動で掲げた人もいます。まずは、令和4年度を仕上げましょう！個人はもちろんですが、学級・学年の目標達成の学期となります。どれだけその目標に近づけていますか？自ら意識して生活できていますか？この3年間でしっかりと力をつけてほしいと思います。どの目標も達成に近づけば、必ず学校生活が充実して自分も集団も認められる存在、求められる存在となります。誰もが望むことですね。そのためにも、学習に学級の役割に部活動に粘り強くあきらめないで挑戦し続けてください。



田原本中学校って、訪問される人からどんな学校（生徒）に見えてると思いますか？聞く印象の一つに「しっかり挨拶してくれる。」と評価していただきます。これは、本校の伝統であり途切れることなく、代々の先輩方がしっかりと守ってきてくれたおかげだと思います。ただ、今以上に数年前は清清(すがすが)しい挨拶が交わされていたようです。今でも、たくさんの人が挨拶をしてくれますが、より多くの生徒が意識して挨拶を交わす日常があればいいですね。



【豆知識】

日常のあいさつは、朝「おはようございます」・昼「こんにちは」・晩「こんばんは」と交わしていますが、一体なぜ、「おはよう」にだけ、「ございます」という丁寧な言葉が付くのでしょうか。

それは、「おはようございます」だけが、特別な挨拶だからなのです。「おはようございます」という挨拶は「歌舞伎(かぶき)」から始まったそうです。現在のような「歌舞伎」に定着したのは江戸時代で、派手な服装とお化粧が特徴的な芝居です。この歌舞伎の役者さんは、派手なお化粧とか衣装の準備に時間がかかるので、かなり早めに芝居小屋にやってきました。そのとき、芝居小屋で働いている裏方の人たちが、役者さんたちに対して、いつも「お早うございますね」と声を掛けていたのです。これは「本番まで、まだ時間があるのに、いつも早く来て準備して大変ですね。御苦労様です。」という意味が語源という説があるそうです。つまり、この「お早うございますね」という言葉は、「挨拶」というよりは、相手を大切に「思いやり」の気持ちが強く含まれた言葉かけだったのです。そして、この「お早うございますね」が、いつしか「おはようございます」に変化したとされています。



どの挨拶も心を込めることが大切ですが、特に一日の始まりに交わす「おはようございます」という挨拶は、相手のことを大切に思う気持ちが込められています。

2020.6.29 西谷 秀幸校長のお話から抜粋(インターネットより)



1月14日(土)前日から予報どおりの雨となりました。生憎の天候でしたが、生徒会の呼びかけに多くの部活動や有志で3年生も数名集まってくれました。当日は、事前に生徒会が割り振ってくれた部活単位の清掃箇所を、手際よく作業に掛かってくれました。主に窓ふき作業を中心に、掃き掃除や拭き掃除をしてくれる場所もありました。限られた時間ではありましたが、雨の中一生懸命に作業してくれるみんなの姿に、大変感動しました。こうした取組が気持ち良く生活できる田原本中学校を創ってくれています。積極的な生徒のみなさんの行動が、学校の雰囲気をもっと良くすることに気づいてください。それだけのパワーを持っているのです。

